



《将来に向けた取組方針》

南海電鉄グループは「地球環境保全」を企業の使命の1つと認識し、すべての事業活動を通じて環境への影響を常に配慮し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動します。

当社のマテリアリティの1つに「地球環境保全への貢献」があり、その取組課題として「生物多様性の保全」を掲げています。また、「生物多様性行動指針」を制定し、あらゆる事業活動の中で生物多様性への影響を回避もしくは最小化することを意識し、沿線における生態系の維持と持続可能な自然資源の利用の実現を目指しています。

南海電気鉄道株式会社 生物多様性行動指針

私たちは、空気や水はもとより、生活のあらゆる場面で自然からの恩恵を受けています。それゆえ、私たちが持続可能な社会を築くには、自然との共生が不可欠です。沿線の自然保護に基づく環境価値の向上は当社の事業基盤の一つであり、当社のミッションであると考えています。

その自然は、様々な生物種とそれらが生息する様々な生態系が存在すること、すなわち生物多様性に支えられています。

そこで私たちは、生物多様性を尊重し、その保護育成に貢献すべく行動指針を定めます。

- 1 生物多様性保全を環境課題の重点項目に位置づけ、自然との共生のために主体的に行動します。
- 2 あらゆる事業活動における生物多様性への影響を回避、または低減するため、関連法令の正しい理解と運用に努めます。
- 3 資源の利用が生物多様性に及ぼす影響に配慮して、グリーン購入、3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動等を推進し、環境負荷低減に努めます。
- 4 お客さま、お取引先企業、沿線・事業地周辺にお住いの方々など、多くのステークホルダーとのコミュニケーションを大切にし、連携して生物多様性の保全に努めます。 2017年9月30日制定

主な環境目標とKPI

脱炭素社会の実現：2050年のCO₂排出量実質ゼロ

- ・CO₂排出量の削減
当社グループにおける排出量を2013年度比46%以上削減（2030年度）
- ・環境配慮型建物（グリーンビルディング）の拡大
新規開発物件における環境認証の取得
- ・省エネ車両の導入割合
85%まで向上（2030年度・南海電鉄および京北高速鉄道）

【南海の取組み事例】 NANKAI

【事例①】パークスガーデン

約500種10万株の樹木を植栽し、農業を使わずに維持管理を行い、都心に多様な鳥や昆虫を呼び戻します。



【事例②】なんかいの森

森林計画に基づく計画的な植林・間伐等により、森林の保護・育成に努めるとともに、生物多様性の保全、水源保全、防砂に貢献しています。



【事例③】国有林・公有林の保全支援

「極楽の森」（和歌山県高野町）、「共生の森」（大阪府岬町）等の国有林・公有林の保全活動を支援しています。

